

第4回みどりの式典



「みどりの学術賞」と 「緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」を授与

4月23日、第4回「みどりの式典」が、天皇后陛下御臨席のもと、鳩山内閣総理大臣、赤松農林水産大臣ほか約400名が出席し、東京都千代田区の憲政記念館で開催されました。

「みどりの式典」は、「みどりの日」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」についての国民の造詣を深めるため、「みどりの月間」中行事の一環として開催されています。内閣総理大臣（内閣府）が主催し、みどりの学術および緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰の授与が行なわれます。第4回みどりの学術賞を受賞した、



黒岩常祥くろいわねよし氏は、受賞者を代表して「生命あふれる地球を作り出し、地球環境を維持してきたのは、植物の『みどり』の力です。今後も地球規模での視点に立った研究や技術開発を進め、豊かな地球環境を取り戻していく決意しております」と挨拶するとともに、研究への協力・支援に対する感謝の意を表明しました。



みどりの学術賞

「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあつた個人に内閣総理大臣が授与し、その功績を讃えるものです。

本年の受賞者は、黒岩常祥氏と鈴木和夫氏の2名で、それぞれの功績は以下のとおりです。



すずきかずお
鈴木和夫

東京大学名誉教授

独立行政法人 森林総合研究所理事長

森林植物学の分野において、寄生から共生まで多様な生活型を示すナラタケ、マツタケとマツとの共生関係、松くい虫被害の原因であるマツ材線虫病などの研究を行い、森林における生物間の相互作用を明らかにして斯学の発展に貢献しました。また、森林保護の分野において、樹木を診断・治療し、樹木の保護に関する知識の普及・指導を行う樹木医制度の創設・発展に尽力するなど社会に貢献しました。



くろいわつねよし
黒岩常祥

立教大学大学院理学研究科特任教授

東京大学名誉教授

葉緑体などの色素体及びミトコンドリアは、植物が太陽からエネルギーを取り入れるための必須の機能である光合成と細胞呼吸を担う細胞小器官(オルガネラ)です。細胞生物学の分野において、その分裂・増殖・遺伝の仕組みを世界で初めて解明するなど、「みどり」がどうやって繁栄していくかについての新たな理解につながる顕著な功績を挙げ、斯学の発展に貢献しました。



緑化推進運動有功者 内閣総理大臣表彰

平成22年緑化推進運動有功者内閣総理大臣表彰の受賞者は、個人が3名、団体が6団体、地方公共団体が2団体、学校が1校、企業が1社の計13者・団体となりました。

○個人…大柳雄彦(宮城県仙台市)、星野努(愛知県岡崎市)、坂野正義(北海道檜山郡江差町)

○団体…北見市相内町町内会連合会(北海道北見市)、みどりのふるさとづくり実行委員会(千葉県野田市)、くりにたち桜守(東京都国立市)、日野の自然を守る会(東京都日野市)、あしがら花紀行千津島地区実行委員会(神奈川県南足柄市)、天龍村(長野県下伊那郡天龍村)、岐阜県立加茂農林高等学校(岐阜県美濃加茂市)、明和工業株式会社(岐阜県多治見市)、貝塚市(大阪府貝塚市)、雲仙百年の森づくりの会(長崎県島原市)

両受賞者の詳細な功績等については、ホームページで確認できます。
みどりの学術賞 <http://www.rinyamati.go.jp/j/press/hozen/100305.html>
緑化有功者表彰 <http://www.rinyamati.go.jp/j/press/hozen/pdf/100416-02.pdf>